



西部での原体験を通して

特定非営利活動法人青少年就労支援ネットワーク静岡
西部支部長 池田佳寿子

有償事業が終了して排除された方々
(結果、私たち自身も排除していた)

- 当時、ボランティアさんとの連絡は皆無
- 事業に関するイベントのお誘いはしていた
- 事業者が変わって、偶然再会した方々から聞いた衝撃の言葉
- 何のためにやっていたのか

有償ボランティアは万能か

- 有償なんだから、出来て当然でしょ。
（期待？有償が抱え込みやりすぎた）
- 事業を仕事として捉える人は、続かない。
- 有償ボランティアより無償ボランティアは活動歴が長くなる。教えてもらうことは無償ボランティアさんから、たくさんある。
- まず自分でやらなければという勘違い
（頼る専門性）

ごちゃ混ぜは 「支える時」 「支えられる時」

- 1対1の応援はやらない
支援・被支援の関係性、相性により途絶える
- 自立とは依存先を増やすこと
(脳性麻痺であり医師である熊谷晋一郎さんの言葉)
- 支援者と呼ばれる人は悩まないのか
誰でも素敵なところがある、尊敬し合える関係
人はダメなところがある、万能ではない
- 場面状況により「支える時」 「支えられる時」
支える側・支えられる側ではない、誰もが応援可能

ボランティアさんとの活動

情報提供のみでは動けない、伴走が必要な方ほど
私たちは

- 咄嗟に動き、ボランティアさんに繋がっている
（前情報がほぼない状態、伝えすぎない）
- 応援団はたくさんいる
- 私はボランティアさんとの時間を確保している
- 相性をほとんど考えていない
（応援団がたくさんいることは、世の中にはいろいろな人がいる日常と同じに近づく）
（正解を教える訳ではないから、1つの提案として）

有償ボランティアの役割として

- 有償ボランティアは時間や会う人数からしても、情報や知識の蓄積、対処の仕方は経験豊富になる
- だから敢えて知っていることほどボランティアさんに聞いてみる、頼ってみる（動きやすくリズムを作る）
- 知らないことは、一緒に動いて知ればいいそれが伴走だから。
- もちろん知らないことでもボランティアさんの強みを生かして、頼ってみる
- 信じる

顔の見える関係づくり

- 最初は、自ら動けるほどの関係性は出来ていない
(作る必要もないけどリズムや感覚があるとイメージしやすい)、だから声をたくさんかける。
- 目的は拠点に来るボランティアではない、地域のボランティアだから有償の発信力は大事。
- 自分の地域のこと、具現的内容でないと「我がごと」になりにくい、返信してよいかわからない
(市町規模の小グループのMLやLINEグループを作成)
- ボランティアへ伴走のイメージがあってもよいのでは
- 困りごとを真ん中にして、スターを描いていく

ボランティアさんについて

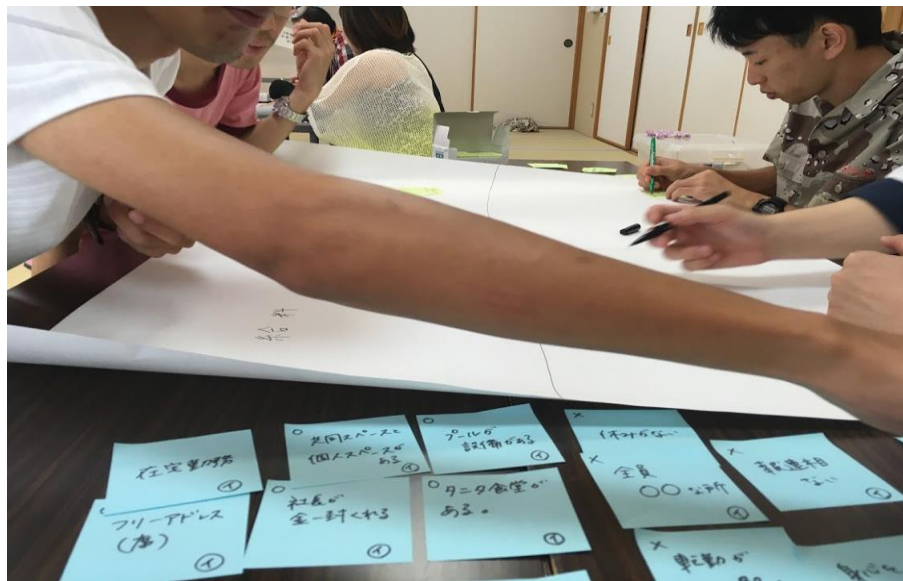
- いい人
- 職業や年齢、性別はさまざまです
- ボランティア登録用紙を書いてもらっています。
- 登録用紙には個人情報の守秘義務が生じます。
- 主にメーリングリストを利用
- 内容は困りごと（相談）やイベントの発信
- メーリングリストは見るだけでも良い
- 自分が参加できそうなものに参加する
- 特技や専門性を発揮していただく方もいる
- 直接、若者の担当をしてくれる方もいる
- 間接的に情報提供を行う方もいる
- できる時にできる事を
- 就労支援以外の事でも活躍されている

A photograph of two young men sitting on a grassy field, facing each other and talking. They are wearing grey hoodies. In the background, there is a modern, multi-story building with large windows and a parking lot with several cars. The scene is outdoors on a sunny day.

話を聴く

自分が落ち込んでいた時に、話を聴いてくれた人がいた。
日向ぼっこをしながら、ゆったりとした時間を一緒に過ごす。

職探しミーティング



好きなことや、ストレンクス（魅力や可能性）、こだわりを元に
どんなお仕事があるか、みんなで話し合う場

理想の職場って何？をKJ法で書きながら、仕事探しの方法や優劣を考
えてみながら、コミュニケーションの練習もしています



身だしなみを整える。

学校は学ランだったから、面接に臨むとなった時にどのような服を着たらよいか...

そこで、スーツやYシャツ、靴や鞆を貸与してくれたり、おさがりで頂いたり

初めてネクタイを結ぶから、どんな風にやったら良いかわからないから、結び方を教えてもらいました。

面接の練習と勉強会 (専門や技術を伴う職種に関して)



身だしなみや所作等気を付けることと、一般的な質問についてはサポステ内で行ったけれども...
専門スキルについての質問が不安とのことで

急遽、希望職種の経験者でもあり、採用担当もされていたボランティアさんに模擬面接をしてもらいました。

フォローアップミーティング から始まる出会い・化学結合

土曜日の午後に行ったFM

どんな仕事出来るか悩んでいたUさんに、企業担当をしている市役所職員の方が「こんな会社見てみない？」とその場で、ある工場に連絡を取ってくださいました。

たまたま工場長がいたので、ボランティアさんと3名ですぐに工場へ直行！！

お互いに気に入って、後日面接をして採用となりました。



職場訪問（定着の応援）



働き始めるとなかなか連絡が取れなくなることもあるけれど、地域のボランティアさんなら、働いているところに様子も見に行ける。もしかしたらお客さんとして応援してくれることも。

就職決定届を機に お給料の仕組みや 社会保障について 学ぼう！！



「お給料って満額もらえる訳ではないんだ...」「何が引かれているの」という言葉をきっかけに、社会保険労務士として活動をしているボランティアさんが説明をして下さり、金銭管理のきっかけにもなりました。

4年12月給与 明細書
[氏名] 株式会社
[部署] 取締役
[所属] 藤 一郎 様

今月もお疲れさまでした。

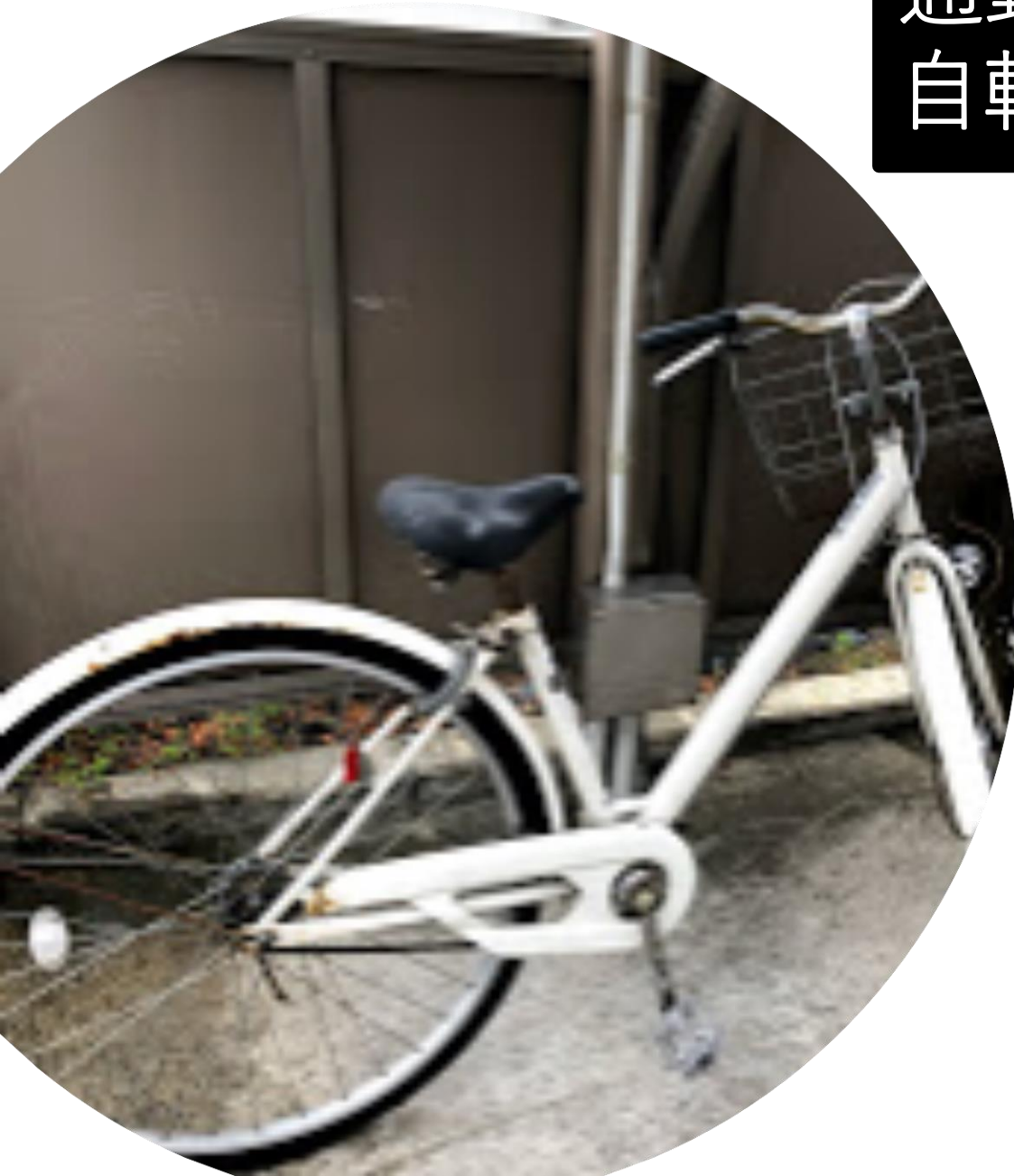
項目	金額	項目	金額
基本給	400,000	健康保険	21,934
営業手当	0	基本保険料	13,112
資格手当	30,000	特定保険料	8,822
住宅手当	0	介護保険	3,410
普通残業	7,500	厚生年金	36,885
深夜残業	0	雇用保険	2,192
休出残業	0	所得税	14,250
休出深夜	0	住民税	10,000
欠勤控除	0	食事代	0
遅早控除	0		
課税通勤費	0		
非税通勤費	0		
支給合計	438,500	控除合計	88,671

支払合計 349,829

振込支給額 200,000
銀行振込 200,000
現金支給額 149,829
現物支給額

見本

通勤困難な若者に 自転車を譲り受ける



就職は何とか決まりそう。
車の免許もないし、バスでの
通勤もダイヤが少ないし、
お給料が入るまで、バス代の
立て替えもちょっと厳しいし、
家族の協力も難しい...

そんな時にボランティアさんが
メーリングリストを見たから
と言って、使っていた自
転車を譲り受けました。

学び直しをしたいと思った時に



働くこと以外の進路も考え始めたOさん。病気で高校を中退したため、高卒の資格を取りたいと考え始めたので

公立高校（定時制）の教員をしているボランティアさんにどんな進め方があるか聞くことになりました

高校で校内カフェを開く

高校の同窓会役員をやっているボランティアさんの発信！
学校生活で困りごとがないか、アルバイトの応援が必要ならば即行動！家族や教員以外の地域の大人と出会う場。





趣味やリフレッシュ等の開拓

真面目な方たちが多いので、仕事の時間以外の過ごし方について、紹介や共有をしながらメリハリのある生活をする事、また地域で一緒に生活する仲間として繋がりあうこと



地域活動へ一緒に参加

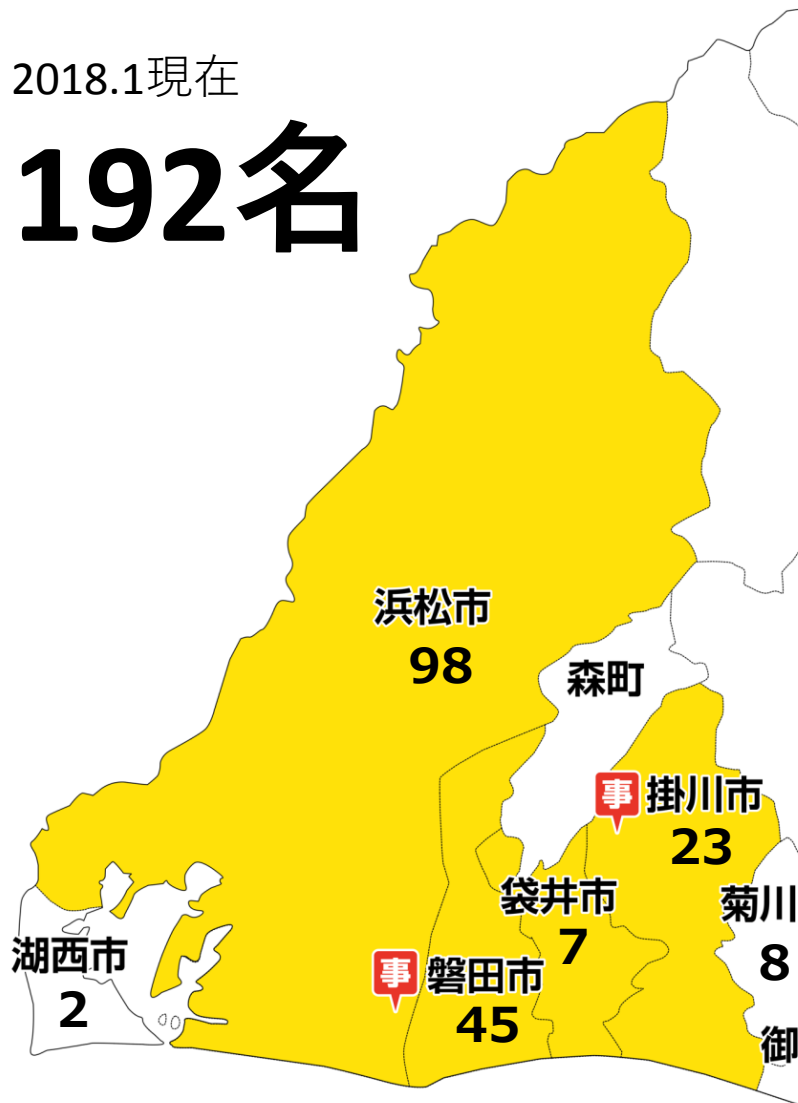
地域で生活する者として、自治会や消防団、漁協組合、教育委員会等のボランティア活動で地域を知る。

西部ボランティアサポーター数
自治体別

- 事は事業あり
- 黄色 はFM 開催地

2018.1現在

192名

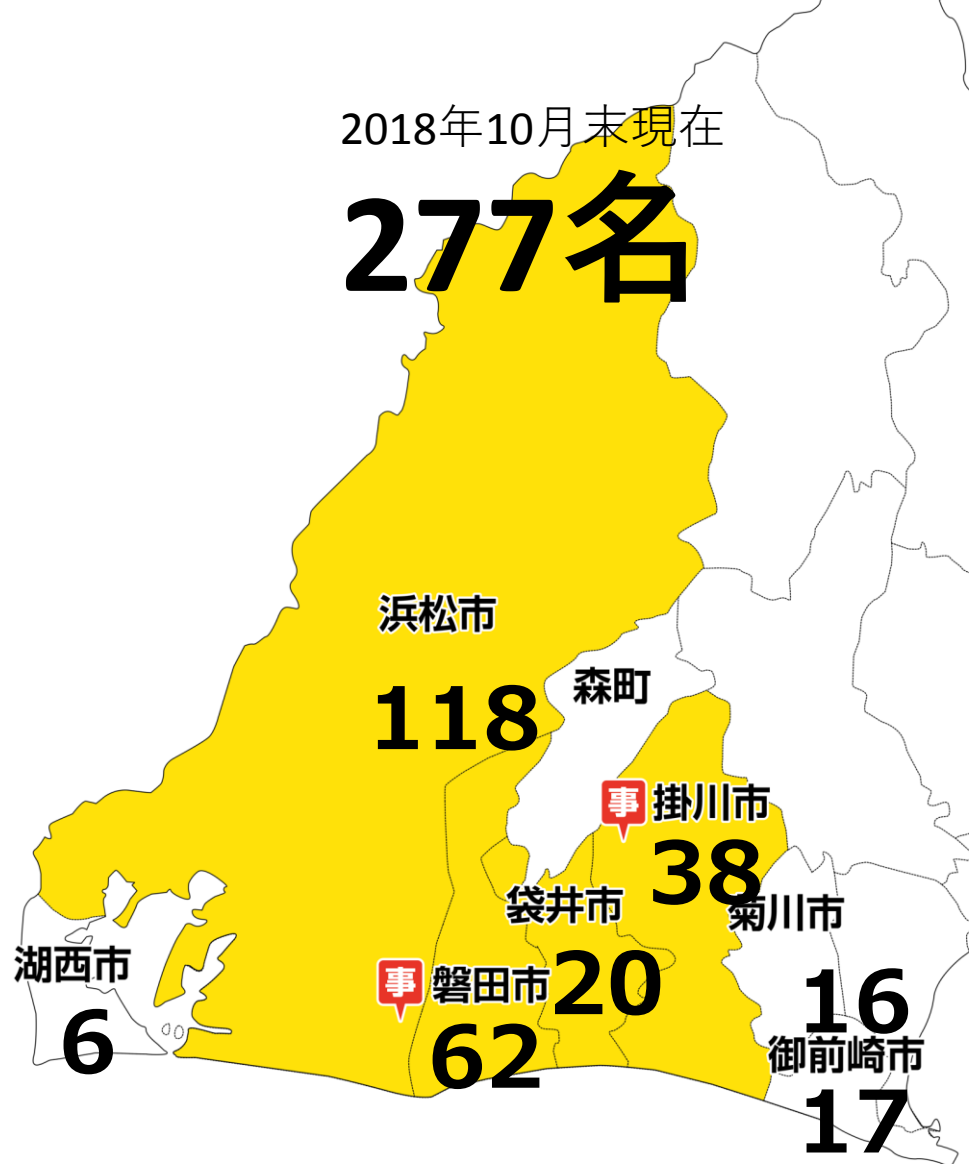


西部ボランティアサポーター数
自治体別

- 事は事業あり
- 黄色 はFM 開催地

2018年10月末現在

277名





就労支援を通じた地域づくり
「こんな社会だったらいいのにな」と言った
個人の目標や夢の実現、そして運動